

学術フォーラムの概要について（事後報告）

- 1 名称：関東大震災 100 年と防災減災科学
- 2 日本学術会議以外の共同主催団体等：
 - ・主催：一般社団法人防災学術連携体
- 3 開催日時：令和 5 年 7 月 8 日（土） 10 時 00 分～18 時 00 分
- 4 開催場所：日本学術会議講堂（Zoom Webinar 等を用いたオンライン配信を併用）
- 5 開催趣旨：

1923 年に南関東を中心に発生した関東大震災は、地震や火災などにより首都圏や周辺地域に甚大な被害を引き起こし、当時およびその後の社会へも非常に大きな影響を与えた。2023 年はこの関東大震災から 100 年目を迎える。これを機に、関東大震災を振り返り、当時何が起こったのか、現在までにどのように社会は変わってきたのか、地震・地震工学はどのように発展してきたのか、またこれからの課題は何か、などを学協会の枠を超え情報共有することは重要である。学術フォーラムは基調講演と 4 部構成で進め、地震・地震動から、都市計画、災害医療、情報・社会等に至る防災に関わる多様な分野の研究者の発表を通じ、議論を深める。
- 6 参加人数：

講演者等：29 名（現地参加 26 名，ZoomWebinar 参加者 3 名）
その他の参加者：1,224 名（現地参加者 131 名，ZoomWebinar 参加者 974 名，YouTube 視聴者 119 名）
- 7 特記事項：
 - ・メディアによる取材・報道等の状況
学会の枠を超え知見共有（建通新聞、2023.7.11）
日本学術会議ら／都内で関東大震災 100 年シンポ開く、時代振り返り将来考える（建設工業新聞、2023.7.11）